

特色を生かした三つの特養 利用者のニーズに応える



- ### 陽風園の事業概要
- 養護老人ホーム 向陽苑 崎浦
 - 養護老人ホーム 向陽苑 木曳野
 - 特別養護老人ホーム 万陽苑
 - 特別養護老人ホーム 第二万陽苑
 - 特別養護老人ホーム 第三万陽苑
 - 陽風園地域福祉プラザ
 - 陽風園訪問介護センター
 - 陽風園デイサービスセンター
 - 陽風園木越デイサービスセンター
 - 陽風園生活支援センター
 - 陽風園地域包括支援センターみつくちしんまち
 - サービス付き高齢者向け住宅 ドウ・リアン
 - 救護施設 三陽ホーム
 - 障害者支援施設 ハビリポート 若葉・若竹
 - 就労継続支援B型 あげぼの作業所
 - 認定こども園 みずきこども園
 - 診療所 陽風園診療所



0、1歳児で入園を希望する世帯の増加に伴い、分園を整備しました。

みずきこども園分園
「おひさまとかぜ」
金沢市みずき4丁目66・67

4月開園

万陽苑

金沢市三口新町1丁目8-1

第二万陽苑

金沢市大桑町中ノ大平 18-25

第三万陽苑

金沢市三小牛町 24-3-1

社会福祉法人陽風園は、地域福祉の拠点として、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、救護施設、障害者支援施設、認定こども園などを展開しています。施設を複合的に運営しているため、利用者のニーズに迅速、的確に応えられるのが強みです。ここでは、それぞれ異なる特色を持った三つの特別養護老人ホームを紹介します。

自宅に近い環境
万陽苑は、明悠館と清風館の二

つの建物から成り、居室は全て個室となっており、明悠館はゆったりとできる共用スペースを備えています。清風館は、10人程度の生活空間の中で利用者一人一人の生活リズムに合わせて食事や入浴を行うため、より自宅に近い環境で暮らせます。

自然に囲まれて
第二万陽苑は、医王山や犀川を望むことができる高台に位置し、四季折々の自然に囲まれた環境に

あります。生け花や書道、料理などの余暇活動が盛んなほか、協力医療機関との情報連携によって円滑な入退院が行えるのも特徴です。

見守り体制充実
第三万陽苑は、個室と二人部屋が用意されており、職員のスマホとナースコールを連携させるなど見守り体制も充実しています。機能訓練指導員が行う集団リハビリテーションでは、利用者の健康と機能の維持に努めています。



社会福祉法人陽風園 創立150周年

Since 1873

園祖・小野太三郎翁の遺志 「仁愛の精神」今も脈々と

金沢市の社会福祉法人陽風園は2023年、創立150周年を迎えました。1世紀半の道のりは決して平坦ではありませんでしたが、時代の変化に対応しながら、地域とともに歩みを進め、日本で最初の民営福祉施設として、その役割を果たしてきました。園祖・小野太三郎翁の遺志である「仁愛の精神」は、今も脈々と受け継がれています。

日本で最初の民営福祉施設

小野太三郎は1840(天保11)年、金沢の中堀川町(現在の金沢駅付近)に生まれました。11歳の時、近江町市場で縁起の良い亀にあやかうと、お金を投げ与える人々の姿を見かけました。

傍らには物をいする老人がいましたが、誰も相手にしません。お金のない太三郎はどうすることもできませんでしたが、その時、「貧しい人を助けることができる人間になろう」と心に誓いました。

明治6年に救養所

1873(明治6)年、太三郎は蓄えていたお金で金沢の木ノ新保(現在の本町)に家屋を購入、視覚障害者を受け入れて食事や着物を与えます。施設は「小野救養所」と呼ばれました。陽風園の始まりです。

1905(明治38)年には、多く



園祖・小野太三郎翁

の人の協力を得て、金沢市常盤町に新しい救養所「小野慈善院」が建てられました。太三郎は初代院長に就いてからも、貧しい人々のために身を粉にして働き、尊敬されました。

小野慈善院は1934(昭和9)年に現在の三口新町に移り、1969(昭和44)年に「社会福祉法人陽風園」となりました。太三郎の思いを継ぎ、職員は日々、利用者の心に寄り添った、温もりのあるサービスを提供しています。



詳しくはこちら

